

平成 21 年度第 3 回尼崎市食育推進会議  
議事録【要 旨】

開催日時	平成 21 年 10 月 23 日（金） 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
開催場所	尼崎市役所 議会棟 第 2 委員会室
出席状況	尼崎市食育推進会議委員 14 名（欠席委員 1 名）
傍聴者	1 名
会議次第	1 開会 2 尼崎市食育推進計画の策定について 議題 尼崎市食育推進計画素案検討について 3 尼崎市食育推進計画策定にかかる今後のスケジュールについて 4 閉会
事務局	健康福祉局参与 拡大事務局：女性・消費生活課、保育課、農政課、学校教育室（学校教育担当、学校保健担当） 事務局：健康福祉局健康増進課

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
会長	議事 1 会長より開会挨拶
事務局	本日の出席状況について、報告する。現在の出席委員は 14 名。尼崎市食育推進会議設置要綱第 7 条に定める定数となっているので、会議は成立する。なお、本日の傍聴希望者は 1 名。
事務局	議事 2 尼崎市食育推進計画の策定について 議題 尼崎市食育推進計画素案検討について 事務局より資料説明 総論 、 、
委員	6 ページ、【野菜の作付面積及び収穫量】について、地産地消という観点から見るのであれば、生産量をグラフ化するのではなく、一人あたりの年間消費量、自給率のグラフを出したほうがわかりやすい。尼崎で不足している野菜も浮かび上がってくるかもしれない。
事務局	たしかに生産量のデータでは、尼崎の食の現状をとらえるには難しいとこ

事務局 会長	<p>ろもある。</p> <p>消費ベースのバックデータがあるかどうか、調べなければわからない。農政課で調査をお願いする。</p>
委員	<p>7ページ、【市民の検診受診状況】について、検診項目別に見ると、血圧測定、検尿といった検診の機器や手法と、肝機能、コレステロールといった疾病の部位に分けられるが、どういった分け方をしているのか。</p>
事務局	<p>基本健康診査の項目として、血圧値、検尿、心電図、血液検査における肝機能検査がある。血圧、検尿、血液検査のデータで正常、要注意を判定している。このデータは加工前のものなので、方向性が決まれば、それに沿って特徴的な部分がわかるように示していきたい。順番もそれに併せて変更する。データを示し方について、具体的な意見をいただければ整理がしやすくなる。意見を出してほしい。</p>
委員 事務局	<p>血液検査と検尿とでは、得られる検査結果は同じである。検尿は必要か。検尿によって腎機能や糖尿のスクリーニング的なことができる。検尿がベースとなり、さらに血液検査で確認をするという順番になっている。</p>
委員 会長	<p>食育の報告であるので、この程度の検査でよいと思う。</p> <p>いまの質問は、検査方法は違って同じ結果が出るということを行っているのではないか。</p>
委員	<p>医療費の出現割合だけでもいいと思う。100%円グラフにするのもよいだろう。そのほうがわかりやすい。受けた人の数は、ほとんど一緒だろうから、血圧等 37424 人で、この項目がほとんど網羅される。検診のときに検尿ができなかった人は少ないので、%表示でいいと思う。</p>
会長	<p>ほかに意見はないか。前述のことについて、円グラフにしたほうがわかりやすいのではないかとこの意見があるが、いかがか。</p>
事務局	<p>要所見の人を割合で表示するのか。受診者の割合を示しても意味がないと思うが。</p>
委員	<p>この折れ線グラフは医療費が出た割合だろう。</p>
事務局	<p>折れ線グラフは、所見ありで医療につながる人たちである。</p>
委員	<p>だから＝医療値＝だろう。</p>
事務局	<p>直結かどうかはいえないが、割合的にはそうなる。要所見の割合をきちんと出すほうがいいのではないかということか。</p>
委員	<p>そのほうがいいだろう。年齢的なデータがあればなおよい。</p>
事務局	<p>すべての検査結果を示す必要はなく、食生活に関係する結果をピックアップしてもいいと考えている。</p>
橋本委員	<p>19年度までは65歳以上は無料だったので、ほとんど高齢者のデータだろう。</p>
事務局	<p>これは40歳以上である。</p>
会長	<p>計画に盛り込むデータの内容、表現、順番などについて意見をいただきたい。</p>

委員	資料 11 ページ【家庭ごみ量内訳（平成 20 年）】を見ると、家庭ごみの中身が非常に細かく分類されている。ほんとうに数えたのか。
事務局	このデータは実測ではなく、一定数を検査したものを元に概数として出した数値である。家庭ごみのデータをすべて使うかどうかは議論の余地がある。
委員 会長	食育の計画に家庭ごみの内訳データが必要か。 家庭ごみ量の内訳を食育の資料に入れる必要性について意見をいただきたい。
委員 事務局	生ごみ、特に手つかずの食品が捨てられる量については関心がある。 生ごみのデータは、食べ残しを減らす取り組み指標の一つとして使うことを考えている。
事務局	平成 21 年の一人 1 日あたりの生ごみの量は 138 グラムである。この数値の削減取り組みを文章で表現できればと考えている。
川島会長	家庭ごみのデータに関しては、生ごみのデータだけを抽出して取り扱い、資料に入れることとする。 ほかのデータについても意見を出していただきたい。
委員 事務局	9 ページのメタボリックシンドロームの解説が間違っている。メタボリックシンドロームの基準は BMI ではなく腹囲なので訂正してほしい。 訂正する。専門用語は用語集にまとめて記載する予定である。
委員	27 ページ、3 「現状と課題の整理」について、「本市の食を取り巻く現状やアンケート調査結果より整理をしている」とされているが、食を取り巻く尼崎の現状からのまとめは、「地場農産物や生産現場との接点が希薄」「こどもの肥満の増加」「生活習慣病の増加」の 3 点しか挙げられていない。これ以外に特徴的なことはないのか。
事務局	こどもの肥満の増加、生活習慣病の増加とあるが、増加という言葉を使うならば年次的なデータを示してほしい。また、BMI の全国的な統計はないのか。 こどもの肥満については経年的なデータを入れる。BMI については確認する。 これ以外特徴としては、不規則な食生活が浮き彫りになっているのがわかる。以前の統計データ等見て、気になるところがあれば意見をいただきたい。
委員	食を取り巻く尼崎の現状として、人口と自給率とメタボ的な肥満度、ごみのデータなどが挙げられているが、これで食を取り巻く尼崎の現状というには範囲が狭いような気がする。
委員 事務局	10 ページの【食料品等取り扱い施設（指数 = 人口 10 万人あたり）】の表は平成何年のデータか。 平成 20 年だと思うが確認する。
会長	食を取り巻く尼崎の現状を示すデータとして、どのようなものを入れたら

	<p>よいか意見はあるか。事務局側で、入れるべき項目を調査、検討し、膨らませてほしい。</p>
委員	<p>【食料品等取り扱い施設～】の表で、飲食店営業の「その他」の具体的なデータを示してほしい。そうすれば尼崎市が他市と違うといった状況がわかるのではないかと感じている。</p>
会長	<p>下に注釈がある。</p>
委員	<p>いろいろな店があるという書き方がされているが。</p>
会長	<p>具体的に示してほしいということか。例えば、居酒屋が多いとか。</p>
事務局	<p>これは市が食料品の取扱いに関する許可を下ろす際の統計データである。そのデータからこういった業態が多いかは読み取ることができるので、具体的に示していく。</p>
委員	<p>9ページに【主要死因の死亡数】が出ているが、尼崎市と他市とを比べたうえで、尼崎市の食生活について言及するほうがよいのではないか。</p>
事務局	<p>兵庫県との比較をする。</p>
委員	<p>主要死因の数値は実数で書かれているが、死亡率で出さなければ他市との比較はできない。</p>
事務局	<p>死亡率で出す。</p>
委員	<p>食生活の積み重ねでかかる病気は？</p>
事務局	<p>悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病である。これらは他市データと比較可能である。</p>
委員	<p>13ページ、朝食を食べない理由のプレゼンテーションは、14ページのように集団ごとに項目別%を示したほうがいいのではないか。また、朝食が用意されていないという項目は、おそらく成人はゼロであるから、小中学生で問題となる項目である。</p>
事務局	<p>上段の朝食の欠食率と同ページに載せる関係上、割愛しているが、14ページのように集団でまとめて示すようにする。小中高校生の状況がわかるようにクローズアップしてプレゼンテーションする。</p>
委員	<p>18ページ、朝食の内容について。「主食＋（主菜＋副菜）以外」とあるが、（主菜＋副菜）以外というのはジュース、飲み物という意味か。</p>
事務局	<p>そうだ。パンと飲み物だけで、副食がないという意味である。</p>
会長	<p>この書き方はわかりにくい。「以外」が主食、（主菜＋副菜）のどちらにかかっているかわからない。</p>
委員	<p>パターンとして、主食のみ、主食＋主菜、主食＋主菜＋副菜、主食＋副菜、主食＋嗜好品等、分けるといろいろあるが、あまり細かなりすぎるのもどうかと思う。</p>
会長	<p>「主食＋（主菜＋副菜）以外」の割合は多いので外すわけにはいかない。</p>
事務局	<p>パンと果物、パンと牛乳といったものがここに分類されるのだと思うが。</p>

事務局	<p>この表の元となったアンケートは、「今日の朝食は何時ごろ、何を食べましたか」ということで時間と内容を聞いている設問である。食べたものはいくつでも丸をするという前提で、主食には1, ご飯、2, どんぶり、カレー類、3, 食パン、ロールパン、フランスパン、調理パン、4, コーンフレーク、シリアル類、5, 麺類。主菜には肉、魚、卵、大豆製品などを使ったおかず。副菜として、野菜、キノコ、いも、海草などを使ったおかず。あと、乳製品ということで、牛乳、乳製品、果物。嗜好品としてジュースや菓子パン、お菓子、健康食品ということで聞いた結果をこのようにまとめている。主食のみということになると、例えば、どんぶりものであったり、コーンフレーク、食パン、調理パンが入るのかなと思う。</p>
会長	<p>表現を工夫したほうがよいと思われる。</p> <p>29 ページ、食育推進の基本方針、尼崎の基本理念「(案) みんなの「いただきます」「ごちそうさま」が人をはぐくむ あまがさきをはぐくむ」と、2. 食育の目標について意見をうかがいたい。30 ページの評価指標の目標値も決めなければならない。これらについてヒアリングシートにて意見を提出願う。</p>
事務局	<p>本日の資料、別紙1に整理の仕方の考え方等を含めた数値目標の解釈文を付けているので、それを見たいうで意見をいただきたい。</p>
会長	<p>引き続き、尼崎市食育推進計画案 ・ について説明いただく。</p>
事務局	<p>各論 ・ について説明</p>
会長	<p>全体の組み立てについて意見があれば出してほしい。なければ了承を得た者とする。</p> <p>37 ページ、(3)事業者との連携による食育の推進について、事業者の方の意見をうかがいたい。</p>
委員	<p>職場の給食は、カロリーや脂質などの表示が出ようになっていると聞く。</p>
会長	<p>食品の情報を表示する仕組みを導入しているところもあるようだ。大学生協でもカロリー等を表示するようになったと聞く。</p>
委員	<p>普段からそうした情報にふれていると意識が変わる。</p>
委員	<p>大学生協が学生たちに教育した結果、成果があらわれているようだ。</p>
委員	<p>飲食店でもカロリー等の表示をしているところがあるが、尼崎市が指導しているのか。</p>
事務局	<p>最近は、ヘルシーメニューを出す方法や食品情報の表示の仕方、バランスのよいメニューを選んでいただくための具体的な方法の提案をしている。</p>
委員	<p>表示する項目は何か。</p>
事務局	<p>対象者によって、エネルギーと塩分、あるいは、エネルギーと脂質といったかたちになっている。わかりやすい表示の仕方についても提案している。</p>
委員	<p>中学生、高校生になると判断力もついてきて、自分で食品を選択する力も出てくる。現在、尼崎市や教育委員会は、中高校生向けの食育活動はしてい</p>

	るか。
事務局	充分な取り組みがなされているとはいえない。
事務局	幼稚園、小学校で食育講座をおこなっている。
委員	効果はあるか。教育効果がないように思う。やらないよりはいいかもしれないが。中学校、高校で行う方が効果的ではないのか。
事務局	中学校、高校から依頼があれば出向き、食育講座等を実施している。実績はあるが、充分とは言えない。
委員	中学生ぐらいになれば、清涼飲料水はどれだけのカロリーで、糖分がどれだけ入っていて、それを10年、20年毎日飲み続けると糖尿病になる確率が非常に高くなるといったことは理解できると思う。
事務局	小学校の親子栄養教室でも、1本のジュースにどれぐらいの砂糖が入っているとか、スナック菓子にはどれぐらいの油が入っているかということは教えている。そういった啓発活動、意識付け講座はずっと続けている。
会長	小学校には栄養教員がいるので、給食に関してはそういった指導はされていると思う。中学校、高校についてはどうかという質問だと思うが。
事務局	現状の中学生、高校生に対する食育は充分とはいえないと感じている。ただ、このままではよくないので、計画をつくる段階で、中高生を対象とした食育を必要項目として挙げている状況である。
委員	現状は何もしていないということか。
委員	小学校では、家庭科、体育、総合学習の時間に食育に取り組んでいる。中学校でも、家庭科や保健体育などで食品のカロリーや健康、食べ物についての学習はなされていると思う。
委員	中学生ぐらいになると、自分で小遣いを持って買い食いするようになるので、そのころから教育しないといけない。糖尿病になった人は、若いころから好き放題な食生活をしてきたという。あらたな計画には、いま充分できていない分野に対しての計画をぜひ盛り込んでいただきたい。糖尿病協会でも、子どものころから食育をとおして糖尿病予防の啓発をすることを重要な課題としてとらえているとしている。今回の計画は医師会、糖尿病協会にもメッセージが伝わるような内容にしてほしい。
会長	園田学園で糖尿病市民フォーラムをおこなうので、ぜひお越しいただきたい。
	36ページ、(4)高校、大学等における食育の推進も計画に入っている。高大連携というのがあり、大学から高校に食育専門の講師が出向き、アンケート結果をもとに食育指導を行っている。
委員	最近では高校への出張講義も行っており、来年度からは、前期、後期で計15回の講義をおこなう予定である。ただ、知識はあっても行動ができていないのが現状である。特に女子学生のダイエットが悪影響を及ぼしている。当大学の学生は、柔軟性、平衡感覚が全国平均と比べて非常に悪い。握力が弱く、びんのふたが開けにくいという。電車に乗っても何かにつかまっていなくてふらふらするという子もいる。体力がないのもたしかである。
委員	行政は新しいデータをたくさん持っていると思うので、要望があれば、中

	<p>学生、高校生、大学生を対象とした食育を推進してやっていただきたい。 ほかに意見はないか。</p>
委員	<p>身体に悪いものはおいしいのも事実。食育の結果、自分で判断できるようになるのが理想ではあるが、そこに到達するのは難しいだろう。これを食べてはだめというマイナスの情報ばかりで、ほんとうに中学生、高校生の子が聞き入れてくれるのか。</p>
委員	<p>こういったものを食べなさいというほうが受け入れられやすいのではないか。</p>
委員	<p>そのほうが楽しいと思う。</p>
委員	<p>小さいときに家庭や教育機関でしっかりおいしいものを食べるといった基本を身につけていれば、例えば、油が身体によくないということを教えられたときに少しはセーブできるのではないかと思いながら毎日保育をしている。</p>
会長	<p>計画の推進について、尼崎市食育推進会議が計画推進、あるいは管理、評価にどのようにかかわっていくかということについても意見をいただきたい。ヒアリングシートで意見を提出いただきたい。 続いて、尼崎市食育推進計画素案の参考資料について説明いただく。</p>
事務局	<p>参考資料説明。</p>
事務局	<p>教育機関での食に関する取り組み事例集を掲載したいと考えている。ご存じの取り組み事例があればお知らせいただきたい。取材、ヒアリングしていきたい。</p>
委員	<p>「保育所、学校給食の特色」というのは、厚労省から出ている指針を載せるのか。</p>
事務局	<p>これから検討する。保育所や学校給食で工夫されている特徴的なものがあれば紹介していきたい。</p>
委員	<p>小学校でやっている給食展などは食育の取り組み事例に入るのか。</p>
事務局	<p>入る。</p>
委員	<p>予算があまりないという現状を行政の方に知っていただきたい。</p>
委員	<p>食育推進のためのイベントや情報誌ということだが、一年間分を提出するのか。</p>
事務局	<p>一年分でもよいし、特集でつくられているものでもよい。計画の資料編に、事例紹介のようなかたちで取りあげること考えているが、紙面の制約上、すべてを紹介できないので、特徴的なものをいくつか選ぶ。</p>
会長	<p>ぜひたくさん出していただきたい。</p>

